

クラウドファンディングを活用し車止めを設置 わずか13日で目標金額達成

サンポールのプロジェクト

車止め・旗ポールメーカ(株)のサンポール(中区南吉島2-4-5、山根以久子社長)は13日、クラウドファンディングを活用した車止めを通学路に設置

するプロジェクトが、今月1日の立ち上げからわずか13日で目標金額120万円を達成した。

近年、制御を失った車両に歩行者が巻き込まれる交通事故が後を絶たない。昨年6月には、千葉県八街市で下校中の児童5人が死傷する痛ましい事故が起きた。この事故を受け、国は危険箇所を抽出して安全対策を講じ

るよう自治体等に通知。全国の通学路で、点検と対策の検討が進められている。同社は道路資材等を製造する企業として、事故減少に貢献したい思いから、今回のプロジェクトを立ち上げた。

プロジェクトは、昨年3月に児童を巻き込む事故が発生した呉市立昭和北小学校の通学路2カ所に、同社製品の高強度型車止め「インパクトボラード」を計8本設置する。



同製品は、スチール製ガードパイプに写真手前左の内部に独自の多重管ユニットを組み合わせ、衝突衝撃を受け止めることを可能にする。設置は4月末を予定。

同社の思いに賛同した支援が全国から集い目標は達成したが、3月末までクラウドファンディングを継続し、追加現場への設置費用の支援を募る。営業管理部の山根卓也主任、写真右と広島営業部の福原悠太主任は同左。同社は「民間企業がクラウドファンディングを活用し、市道の安全対策を行う取り組みは恐らく全国初。プロジェクトを少しでも多くの方に知っていただき、全国の自治体様や学校関係者様が同じようなプロジェクトを立ち上げてくださると幸いです」と声を揃える。

プロジェクトに対する支援は、クラウドファンディングサイト「READYFOR」から。もしくはサンポールに手続き代行を申し込む。問合せ電話244-4655。